

第2学年の保護者の皆様

苫小牧市立青翔中学校長 中川 恵介

平成30年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月17日（火）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

なお、「平成30年度苫小牧市統一学力検査の結果等」につきましては、苫小牧市立青翔中学校ホームページに掲載しております。[\(http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/seisho/\)](http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/seisho/)

記

1 検査の概要

(1) 実施日

平成30年4月17日（火）

(2) 調査対象

市内中学校第2学年

(3) 検査内容等

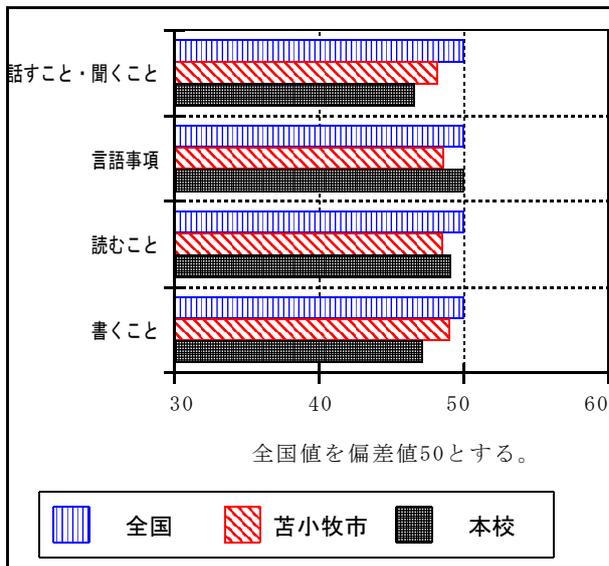
- ① 国語科及び数学科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 全国学力調査（集団準拠評価）を実施

2 本校の結果と考察

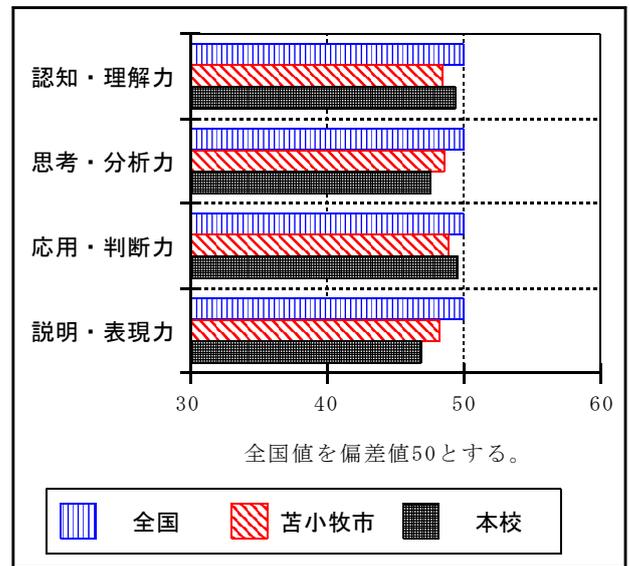
(1) 国語科

①領域別（※2）及び能力別（※3）の偏差値SS（※1）における全国との比較

【領域別】

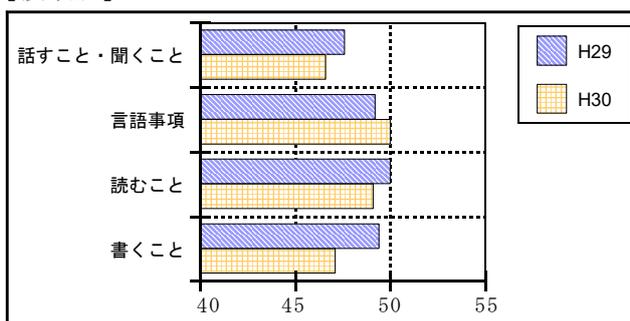


【能力別】

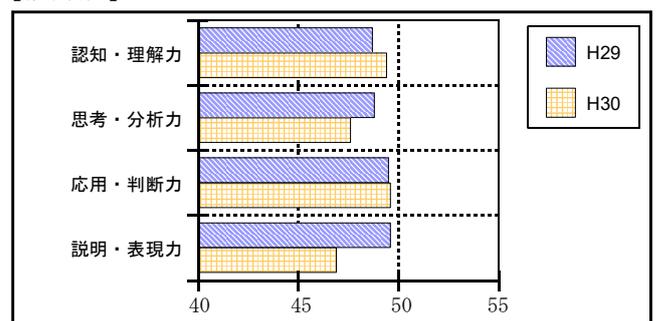


②昨年度（同一集団である平成29年度中学校1年時）との比較

【領域別】



【能力別】



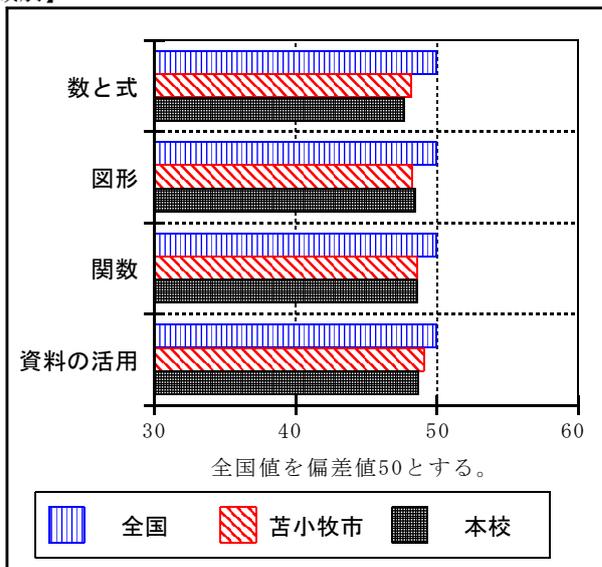
③考察

- \* 教科総合は全国値とほぼ同等であり、偏差値分布においては、上位層より下位層が多く、中間層はやや上位に厚みがある状態である。
- \* 領域別では「話すこと・聞くこと」「言語事項」「読むこと」は全国値とほぼ同等である。「書くこと」は全国値を下回っており、「表記や語句の用法・叙述の仕方などを確かめて、わかりやすい文章で書く」問題で差が顕著であった。能力別では「認知・理解力」「思考・分析力」「応用・判断力」において全国値とほぼ同等である。「説明・表現力」は全国値を下回っている。
- \* 昨年度（同一集団である平成29年度中学校1年時）と比較して、領域別では「話すこと・聞くこと」「読むこと」は昨年とほぼ同等、「言語事項」は昨年をやや上回っており成果がうかがえる。「書くこと」は昨年を下回っている。また、能力別では「応用・判断力」は昨年とほぼ同等、「認知・理解力」は昨年以上回っている。「思考・分析力」「説明・表現力」は昨年を下回っており、今後の指導の充実が必要である。
- \* 今後の課題としては、「表記や語句の用法・叙述の仕方などに注意して」「わかりやすい文章で書く」力を伸ばすため、文章構成や論点を明確にして書くことを重視した授業改善を目指す。また他教科でも自分の考えを伝える活動を取り入れており、表現力を高める指導の充実を図る。

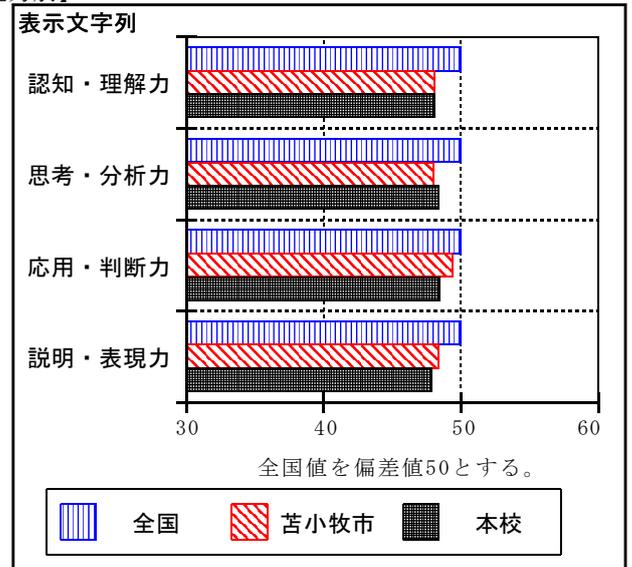
(2) 数学科

①領域別（※2）及び能力別（※3）の偏差値SS（※1）における全国との比較

【領域別】

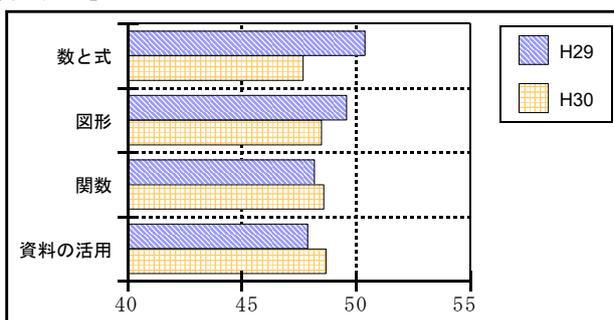


【能力別】

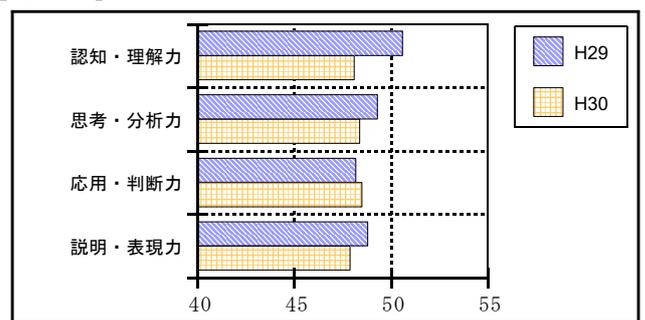


②昨年度（同一集団である平成29年度中学校1年時）との比較

【領域別】



【能力別】



### ③考察

- \* 教科総合は全国値とほぼ同等である。偏差値分布においては、中間より下位層に厚みがある状態である。
- \* 領域別では「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」が全国値とほぼ同等である。能力別では「認知・理解力」「思考・分析力」「応用・判断力」は全国値とほぼ同等である。「説明・表現力」は全国値を下回っている。
- \* 昨年（同一集団である平成29年度中学校1年時）と比較して、領域別では「図形」「関数」「資料の活用」の3項目については同程度またはやや上回っている。「数と式」については、昨年を下回っている。能力別では「思考・分析力」「応用・判断力」「説明・表現力」については同程度である。「認知・理解力」において昨年を下回っており、指導の充実が必要である。
- \* 「数と式」については授業時間の配分を工夫し、類似問題や演習問題に多く取り組ませるようにし定着を図る。「図形」「関数」「資料の活用」は生徒の理解度を高めるため、学習内容を焦点化し生徒に付けたい力を明確化することにより授業改善を目指す。

※1 【国語】学習指導要領が示す学習内容のまとまり（話すこと・聞くこと・言語事項・読むこと・書くこと）に基づいた学力

【数学】学習指導要領が示す学習内容のまとまり（数と式・図形・数量関係）に基づいた学力

※2 目標準拠評価における「観点」に対応する視点から設定した学力

○認知理解力：生徒がもっている知識（情報）量とその情報に基づいて単純に判断する力や処理する能力

○思考分析力：課題に応じて知識を関連付けながら推論して判断する基本的な力

○応用判断力：「思考分析力」を更に発展させ、より多くの情報や条件に基づいて、総合的に推論・判断し、問題解決する力

○説明表現力：上記の3つの能力によって導いた結論や考えを第三者に正確に、あるいはわかりやすく説明する力

※3 全国平均を50として、全体と比較し、どの程度の水準にあるかを示す数値